



マラルメ・シンポジウム プログラム



STÉPHANE MALLARMÉ

9月7日（金）14:00～ 司会：立花 史

- 14:00～ 宮寄 克裕：マラルメ『半獣神の午後』におけるディアロジスム
- 15:00～ 鳥山 定嗣：マラルメを吊うヴァレリー：『若きパルク』再読
- 16:00～ 学谷 亮：知性と意志 — ポール・クロードルのマラルメ観
- 17:00～ 松村 悠子：『ディヴァガシオン』と定型韻文

9月8日（土）10:00～ 司会：坂巻康司・黒木朋興

- 10:00～ 村上 由美：半獣神と舞踊
- 11:00～ 合田 陽祐：カルチエ・ラタンからモンマルトルへ
— ジャリから見る 1890 年代パリの文学場
- 13:30～ 立花 史：詩句に流れる時間の遊び — マラルメ作品を初めて読むために
- 15:00～ 坂巻 康司：詩的イメージの変貌 — ユーゴーからマラルメへ
- 16:00～ 永倉 千夏子：Épouser la notion 経由 Fiançailles から Noces 行き
- 17:00～ 熊谷 謙介：マラルメの詩の「縁語」について — « À la nue accablante tu » を中心に

9月9日（日）10:00～ 司会：熊谷謙介・中畑寛之

- 10:00～ 中畑 寛之：「美との契約」に従って — 詩人マラルメと出版市場
- 11:00～ 坂口 周輔：空とイメージ — 「驟雨と批評」を読む
- 13:30～ 黒木 朋興：韻文の理想、散文の現実
— マラルメの詩とグリヴォーの純粹音楽
- 14:30～ 福山 智：マラルメのアラベスクとその系譜
- 15:30～ 松浦 菜美子：マラルメと〈女〉の表象
- 16:30～ 大出 敦：マラルメとアナログアの哲学

avec l'amitié
de
R

〔日程〕 2018年9月7日・8日・9日〔予約不要・来聴歓迎〕

〔会場〕 慶應義塾大学 日吉キャンパス 来往舎 1F シンポジウムスペース

〔主催〕 中畑研究室（神戸大学）・大出研究室（慶應義塾大学）

igitur@people.kobe-u.ac.jp

〔共催〕 日本マラルメ研究会・慶應義塾大学教養研究センター

A HIYOSHI
UNIVERSITÉ KEIO
MMXVIII.